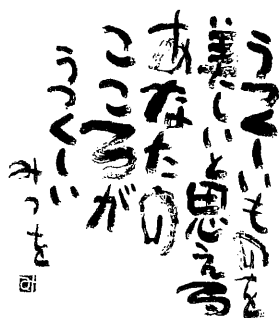


さくら第462号

平成30年6月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬重雄
春江町境 17-7: TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp

『見た目が大事』

見た目が大事だなと思う時がよくあります。運動会でのリレーでは走る姿がカッコいい人はやはり速いです、腕の振り方や身体の傾けかたなど見た目が美しいですね。プールで泳ぐ人を見るとフォームがキレイでなめらかです。水のかきかた、息つきなど見ても無理なく楽に泳ぐから1000mでも疲れも少ないのでしょう。そろばんの練習でも姿勢をくずさず計算するよう自分を励ましながら頑張ってください。

姿勢という字の成り立ちをみました。まず、姿の字です。これは神事などで、両手をしなやかに重ねて膝まづく女性の象形文字といえます。勢の字は、人が若木を持つ象形文字であり力強い腕をあらわすといえます。活動する力、行動する力を示すといえます。

色んな解釈もありますが、力強く行動するなかにも女性の美しい仕草がこの姿勢という字のなかに込められていることを思いだしながら背筋を伸ばしたキリッとした姿を持ち続けたいものです。

東京での会合がある時は、米原駅から新幹線に乗り換え3時間弱で東京駅につきますが、その時いつも感じるがあります。車内で切符の確認に車掌がやってきて一人ひとりの切符を確かめると検査印を押して次の席の人へとまわっていきます。

女性の車掌さんもいます。また、車内を見回るなどして通路を通りすぎる女性も見かけますが、どの人を見ても姿勢がよく背筋がピンとの

びており格好よくさわやかな感じを受けます。

車内販売用のワゴンを押しながら通り過ぎる男性や女性の姿も気持ちよく感じます。

新幹線は普通16両編成なので400mあり歩いてみると7分ほどかかりました。車両の揺れがあるので歩きながら品物を販売するのも大変でしょうし、笑顔で対応するのも疲れるでしょうが姿勢はつねにピリッとしています。

ちなみに、新幹線は先頭車が27.35mで中間車両は25mです。1,323人が乗れるそうです。値段は16両で48億円といい、飛行機の100億円よりは安いですが、高価です。

ところで、練習中によく言うことがあります。『姿勢をよくする』、『背すじをのぼす』、『左手を机の上に置く、床に着けないように』などです。正座して練習中の姿勢を見ると左手はそろばんを押さえず、その手は床を押さえており身体が傾いています。

後ろ姿を見ればさらに目立ちます。猫背の人もけっこういます。いす席の人でも計算しない左手はイスの上や、中にはお尻の下にある人もいます。伝票計算の時だけは左手はツクエの上ですが、右手で払って右手で計算するのはスピードが落ちますし無理な姿勢ではムダが多くなります。

もう1つ気になり困ったと思う事はエンピツの持ち方です。無理なくきれいに持って書く人は約30%で、特に悪い持ち方だなという人が30%、あとの40%の人は何とかいいかなと思います。もちかたが悪いとつかれますし速く書きにくく読みにくくなります。何度となく注意し、話しても本人に直す気がなければだめです。

それでも私はあきらめずに話します。それは大人になって人前で書くときの指先や、書く姿がきれいだと印象がいいからです。

背筋をのぼして動くと、きっと気分もよくなります。周りの人たちも気持ちよくなります。『人の振り見てわが振り直せ』というように、私自身もふくめて見た目のよい姿勢にしたいものです。